

長野公園 新聞 第2号



都市公園長野公園管理共同体

あるがままの自然を満喫できる数少ない都市公園のひとつ長野公園。金剛山系の裾野に点在する5ヶ所の地区からなるこの公園は、昭和26年に天野山地区をはじめ4地区が府営公園として開設され、さらに昭和32年には延命寺地区が追加開設されました。現在の面積はおよそ46ヘクタール。いずれも眺望が素晴らしい、手付かずの自然に出会える貴重な公園です。

長野公園は、それぞれ異なる個性を持った5つの地区から構成されています。春には全山が桜で包まれる花の名所「長野地区」。桜、あじさいなどが楽しめる「河合寺地区」、大阪湾一円を望む展望が見事な「観心寺・丸山地区」、新緑と紅葉、そして貴重な品種の蓮などで知られる「延命寺地区」、深い森が広がり、文字通りの森林浴が味わえる「天野山地区」と個性いろいろ。四季の移ろいを感じながら、豊かな自然を満喫できる公園です。

11月20日から、24日まで行われる「ぐるっとまちじゅう博物館」に、長野公園が参加します。今年は市内の観心寺、金剛寺、延命寺の三つのお寺をおもな会場として行われ、金剛寺の国宝・延喜式神名帳などの文化財が公開されます。

河内長野市は、6つの国宝と77の重要文化財を持つ都市で、これは埼玉や高知などの県よりも多いのですが、みなさんご存じでしたか。この三つのお寺の裏山が、それぞれ長野公園の観心寺・丸山地区、天野山地区、延命寺地区にあたります。

そのひとつ、秋の紅葉が美しい延命寺の講堂で、23日に大阪市立大学の地理学がご専門の水内先生にお話しをしていただきます。

五つの地区にわかれている長野公園ですが、かつて長野遊園だった長野地区と、真言宗のお寺の境内地（裏山）であった四つの地区がなぜひとつの公園となったのか？そもそも、公園と遊園地の違いって何だろう？神社やお寺の境内地と公園の深いつながりなどなど、そのような疑問に対する興味深い話題が、軽妙なおしゃべりでわかりやすく解説されます。

みなさま、是非この機会に長野公園に足を運んでくださいますようお願いいたします。

ぐるっとまちじゅう博物館 2009 都市公園長野公園管理共同体講演会



講題 「南河内の都市の歴史遺産と長野公園」

日時 2009年11月23日（月曜日・祝日）

午前10時30分～12時

会場 延命寺講堂（山門入ってすぐ横）

講師 水内俊雄 大阪市立大学 都市研究プラザ副所長

費用 無料

講師プロフィール

水内俊雄教授

1956年和歌山生まれ。京都大学大学院文学研究科後期博士課程中退。博士（文学）。大阪市立大学都市研究プラザ（大学院文学研究科兼任）教授。『モダン都市の系譜』（共著、ナカニシヤ出版）、『空間の社会地理』（編著、朝倉書店）、『開発』の変容と地域文化』（共著、青弓社）、『経済・社会の地理学』（共著、有斐閣）